

H・K 様

年齢：57歳

性別：男性

職業：過去に設計事務所・

家電修理等の仕事を経験

趣味：スポーツ鑑賞、DVD鑑賞

これからやりたいこと：アイスが食べたい！

既往歴：脳腫瘍術後てんかん・発語障害

右上下肢麻痺、高次脳機能障害

身体障害者手帳2種3級交付

主疾患名：脳腫瘍術後

医療処置：胃瘻や創傷の管理・経管栄養注入、

喀痰吸引、排便コントロール

リハビリテーション



ケア内容

<障がい福祉サービス受給中>

・障がい種別1

・障がい支援区分6

・介護給付費 居宅介護(身体介護90時間/月、
家事援助5時間/月、通院介助6時間/月)



H・K様は誤嚥性肺炎を繰り返しており、適宜喀痰吸引が必要でした。入居後も1日10回未満の喀痰吸引を実施していますが、“口から食べ物を食べたい”という希望があり、医師に要望を伝えたところ『誤嚥性肺炎になりやすいので口腔体操等の嚥下リハビリを実施しましょう』との指導を受け訪問時にリハビリを実施してきました。

そして6か月後、喀痰吸引がいつでもできる体制を整え、嚥下評価の一環として棒付き飴を摂取しパチリ(画像参照)。“アイスを食べる”という希望までの道のりはまだまだ遠いですが、リハビリの日々を過ごしています。

また、入居当初より同性による身体介助に抵抗感がありましたが、日々の関わりの中から徐々に理解を示して下さり、今では同性同士、冗談混じりでの会話ができるようになってきました。また、個室に入居されているため、日中眠って過ごしていることが多く見受けられましたので、朝の起床後や訪問時間以外にもお声がけし、可能な限り覚醒時間の確保に努め、他利用者様と同時刻に入浴する事で会話する機会や笑顔を引き出せるような時間を設けています。

ケアを通し、難病や障害をお持ちの他利用者との関わりの中からお互いの名前を覚えたり”一人ではない”と思える時間を共に過ごせることは、本人だけでなく介助側も嬉しく感じています。

入居経緯

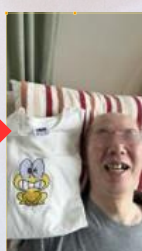
脳腫瘍ope後遺症として、嚥下低下・誤嚥性肺炎があり、胃ろう管理中であった。

喀痰吸引が常時必要であるため、もともと入所していたグループホームでの生活が困難となり、K病院にレスパイト入院。

相談支援員より愛さんさんへの入居相談を受け、2023年10月より当施設へ入居となった。

Before

After



嚥下評価
棒付き飴

平均請求額(円/月)

96,958円

(通院費用や買い物の
立て替え払い込み)



宮城県石巻圏域初／
医療ケア対応型ホーム

「SUN SUN ISLAND 石巻」

お申込み/お問い合わせ

022-355-4660(10～17時)

080-3326-0133(直通)

〒986-0824 宮城県石巻市立町2丁目6-12

相談会への1分簡単申込



過去の症例チラシは こちらから



第01号【重度障がい者施設から
入居した頸髄損傷の事例】



第02号【施設で最期を過ごし行きたい場所への希望を叶えた肺癌終末期の事例】



第03号【身寄りのない腎癌終末期の方が、“誰かの役に立ちたい”と軽作業をされた事例】



第04号【自宅で毎日転倒していた多系統萎縮症の事例】



第05号【ご要望が多く施設を転々とした褥瘡治療中の方がご自宅へ退院するまでの事例】



第06号【胃がん終末期にデイサービスや屋外作業をされた事例】



第07号【医ケア・重度障がい者の入居事例】



第08号【医療的ケアが必要な方が“家に帰りたい”夢を叶えた事例】



「SUN SUN ISLAND 石巻」